



## MATERION

## 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	MEG-165 エポキシ		
供給者の会社名称, 住所及び電話番号			
会社名	Materion Electronic Materials		
住所	6070 Parkland Boulevard Mayfield Heights, OH 44124 米国		
担当者 (作成者)	Theodore Knudson		
電話番号	EH&S	1.216.383.4019	
メールアドレス	ehs@materion.com		
緊急連絡電話番号	See Section 16.		
整理番号	F02		

## 2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類	GHS分類基準に該当しない。		
物理化学的危険性			
健康に対する有害性	皮膚腐食性 / 刺激性	区分2	
	眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性	区分2B	
	皮膚感作性	区分1	
環境に対する有害性	GHS分類基準に該当しない。		

## GHS ラベル要素

## 絵表示



## 注意喚起語

警告

## 危険有害性情報

皮膚刺激。アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。強い眼刺激。

## 注意書き

## 安全対策

使用前に取扱説明書入手すること。全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。取扱い後はよく洗うこと。この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

## 応急措置

皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診察 / 手当を受けること。吸引した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。汚染された衣類を脱ぐこと。暴露または暴露の懸念がある場合：医師の診断/手当を受けること。

## 保管

施錠して保管すること。

## 廃棄

内容物 / 容器を現地、地域、国、国際規則に従って廃棄すること。

GHS分類に関係しない又はGHSで扱われない他の危険有害性

知見なし。

## その他の情報

詳細については、+1.216.383.4019で製品管理部門にお問い合わせください。

## 重要な徴候及び想定される非常事態の概要

## 重要な徴候

眼刺激。アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。

## 非常事態の概要

皮膚刺激。アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。強い眼刺激。

## 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

## 官報公示整理番号

成分	CAS番号	化審法	安衛法	含有量 (%)
ポリアミド樹脂	25191-90-6	(7)-367	(7)-367	40 - 70

	CAS番号	化審法	安衛法	含有量 (%)
エポキシ樹脂	25068-38-6	(7)-1283	(7)-1283	15 - 40
カプロラクタム	105-60-2	(5)-1097	(5)-1097	5
ジシアンジアミド	461-58-5	(2)-1694	(2)-1694, 2-(11)-16, 2-(11)-23	1 - 5

化学式 C6H11いえ (25191-90-6), (C15H16O2.C3H5ClO)x (25068-38-6), C6-H11-N-O (105-60-2), C2-H4-N4 (461-58-5)

#### 4. 応急措置

吸入した場合	空気の新鮮な場所へ移動する。症状が悪化したり継続したりする場合は医師に連絡する。
皮膚に付着した場合	汚染された衣服を直ちに脱ぎ、皮膚を石鹸と水で洗浄する。気分が悪いときは、医師の診察 / 手当てを受けること。湿疹またはその他の皮膚障害の場合：この説明書を持参し、医師の診察を受ける。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
眼に入った場合	直ちに多量の流水で最低15分間目を洗浄する。コンタクトレンズをしていて容易に取り外せる場合は取り外す。その後も洗浄を続けること。刺激が強まったり続く場合には医師の手当てを受ける。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。気分が悪いときは、医師の診察 / 手当てを受けること。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。皮膚刺激性
応急措置をする者の保護に必要な注意事項	ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察 / 手当てを受けること。気分がすぐれないときは医療処置についてアドバイスを求める。(可能ならばラベルをみせる) 医療スタッフに物質が何であるかを伝え、自身の保護措置にも気をつけさせる。この安全データシートを担当医に見せる。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
医師に対する特別な注意事項	一般的な処置および症状にあわせた適切な治療を施す。被災者を保温する。

#### 5. 火災時の措置

適切な消火剤	水噴霧。泡消火剤。粉末消火剤。二酸化炭素 (CO <sub>2</sub> )。
使ってはならない消火剤	消火に水噴射をしない。これは火災を拡散することになる。
火災時の特有の危険有害性 任意	知見なし。
特有の消火方法	危険でなければ、火災区域から容器を移動させる。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	火災の際は自給式呼吸器および全身保護衣を着用しなければならない。
一般的な火災の危険性	異常な火災や爆発の危険性は知られていない。
特定の消火方法	通常の消火手順を用いる。影響を受けた他の物質の有害性を考慮する。

#### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項, 保護具及び緊急時措置	関係者以外の立ち入りを禁止する。こぼれやもれが起きている場所から関係者以外を遠ざけ、風上に避難させる。清掃中は適切な保護具および防護服を着用する。適切な保護衣を着用せずに、壊れた容器または流出物に触らない。十分な換気を確保する。流出が著しくて回収できない場合は、現地当局に通告すべきである。個人用保護具については、本SDSの項目8を参照。
環境に対する注意事項	環境への放出を避けること。全ての環境流出に該当する管理または監視要員に通知すること。安全を確認してから、もれやこぼれを止める。下水や水路、地面への排出を避ける。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	水路、下水道、地下または密閉された場所へ流入を防ぐ。  大量の漏出：リスクを伴わずに可能なら、物質の流れを遮断する。製品回収後、その付近を水で洗い流す。  少量の漏出：残った汚染を取り去るには、床を徹底的に清掃すること。  絶対に流出物を元の容器に回収して再使用してはならない。廃棄物の廃棄方法については、本SDSの項目13を参照。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

技術的対策 (局所排気、全体換気等)

適切な換気を行う。

安全取扱い注意事項  
安全取扱注意事項

使用前に取扱説明書を入力すること。全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。粉じん / 煙 / ガス / ミスト / 蒸気 / スプレーの吸入を避けること。眼、皮膚、衣服への接触を避ける。長時間の接触を避ける。使用中は飲食や喫煙をしない。妊娠中または授乳中の女性はこの製品を取り扱ってはならない。もし可能であれば、閉鎖系で取り扱うこと。取扱い後は手をよく洗うこと。環境への放出を避けること。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。産業衛生に気を配る。本SDSの項目8で推奨されている個人用保護具を使用すること。

接触回避

強酸化剤。詳細については、本SDSの項目10を参照。

衛生対策

本物質を取り扱った後、飲食や喫煙をする前に手を洗うなど、常に適切な衛生措置をとる。汚染物質を取り除くために定期的に作業衣と保護具を洗う。

### 保管

安全な保管条件

施錠して保管すること。容器を密閉しておくこと。混触禁止物質から離して保管すること (本SDSの項目10を参照)。

安全な容器包装材料

元の容器に密閉して保管する。

## 8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度等

標準監視手順に従ってください。

暴露限界値

米国 ACGIH 限界値  
成分

タイプ

数値

形状

カプロラクタム (CAS  
105-60-2)

TWA

5 mg/m3

吸引性画分および蒸気。

設備対策

適切な全体換気を行わなければならない。換気回数は状況に合わせる。暴露限界値が設定されている場合は、密閉装置、局所排気装置その他の装置により、空气中濃度を暴露限界値以下に保つ。暴露限界値が設定されていない場合も、空气中の濃度を適切な濃度以下に抑える。洗眼設備および安全シャワーを設置する。

保護具

呼吸用保護具

換気が不十分な場合、適切な呼吸用保護具を着用する。

手の保護具

適した耐化学薬品性の手袋を着用しなければならない。

眼、顔面の保護具

目を怪我する危険があるとき、特に溶解、鑄造、切削、研磨、溶接、紛体処理等の粉塵が発生する作業中は、所定の安全眼鏡、ゴーグル、保護面、溶接用ヘルメット等を着用する。

皮膚及び身体の保護具

適切な保護衣を着用する。

## 9. 物理的及び化学的性質

物理状態

固体。

形状

フィルム。

色

半透明。

臭い

なし。

臭いの閾値

該当しない。

融点 / 凝固点

データなし。 / 該当しない。

沸点又は初留点及び沸点範囲

該当しない。

可燃性

知見なし。

爆発下限界及び爆発上限界 / 可燃限界

可燃限界 - 下限 (%)

該当しない。

可燃限界 - 下限・測定温度

該当しない。

可燃限界 - 上限 (%)

該当しない。

可燃限界 - 上限・測定温度

該当しない。

爆発限界 - 下限 (%)

該当しない。

爆発限界 - 下限・測定温度

該当しない。

爆発限界 - 上限 (%)

該当しない。

爆発限界 - 上限・測定温度	該当しない。
引火点	該当しない。
自然発火点	該当しない。
分解温度	該当しない。
pH	該当しない。
動粘性率	該当しない。
溶解度	
溶解度 (水)	不溶性
n-オクタノール / 水分分配係数 (log 値)	該当しない。
蒸気圧	該当しない。
密度及び / 又は相対密度	
密度	1.21 g/cm <sup>3</sup> 推定値
比重	該当しない。
相対ガス密度	該当しない。
粒子特性	該当しない。
その他の情報	
蒸発速度	該当しない。
爆発性状	爆発物でない。
酸化能力	酸化性でない。
粘度 (粘性率)	該当しない。
揮発性有機化合物	該当しない。

## 10. 安定性及び反応性

反応性	本製品は、通常の使用、保管および輸送条件下では安定かつ非反応性である。
化学的安定性	通常状態で安定。
危険有害反応可能性	一般的な使用条件下では、危険な反応は知られていない。
避けるべき条件	分解温度を超える温度を避ける。混触危険物質との接触。
混触危険物質	強酸化剤。
危険有害な分解生成物	危険有害な分解生成物は知られていない。

## 11. 有害性情報

急性毒性	知見なし。
皮膚腐食性 / 刺激性	皮膚刺激。
眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性	強い眼刺激。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	
呼吸器感作性	呼吸器感作性物質でない。
皮膚感作性	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
生殖細胞変異毒性	区分に該当しない。
発がん性	
ACGIH発がん性物質	
カプロラクタム (CAS 105-60-2)	A5 ヒトに対する発がん性の疑いのない物質
IARC発がん性評価モノグラフ	
カプロラクタム (CAS 105-60-2)	3 ヒトへの発がん性を分類できない。
生殖毒性	生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い。
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	区分に該当しない。
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	長期にわたる、又は反復ばく露による臓器 (呼吸器系) の障害のおそれ。
誤えん有害性	吸引性呼吸器有害性でない。

## 12. 環境影響情報

### 環境影響データ

製品		種	試験結果
MEG-165 エポキシ			
水生			
急性			
甲殻類	EC50	ミジンコ	16560 mg/l, 48 時間 推定値
成分		種	試験結果

カプロラクタム (CAS 105-60-2)			
水生			
急性			
甲殻類	EC50	ミジンコ (ダフニア マグナ)	828 - 2920 mg/l, 48 時間
魚類	LC50	コイ科 (Leuciscus idus)	1450 mg/l
生態毒性	この製品は環境に有害であるとは分類されていない。しかし、大量の流出や繰り返しの流出が環境に有害な影響を及ぼさないとは限らない。		
残留性・分解性	混合物中のどの成分も分解性について利用可能なデータはない		
生態蓄積性			
生体内蓄積の可能性			
オクタノール / 水分配係数 log Kow			
ジシアンジアミド	-1.15		
土壤中の移動性	本生成物のデータはありません。		
オゾン層への有害性	データなし		
他の有害影響	その他の環境悪影響 (例、オゾン層破壊、光化学オゾン生成可能性、内分泌かく乱、地球温暖化の可能性) は、これらの成分からは期待されません。		

## 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	現地の規定に従い、処分する。空の容器やライナーには製品の残余物が残っている可能性がある。本物質とその容器は安全な方法で廃棄しなければならない (「廃棄上の注意」参照)。
汚染容器及び包装	製品の残余物が残っているかもしれないので、容器が空になった後もラベルの警告に従う。空の容器は、リサイクルまたは廃棄のために、承認された廃棄物処理施設に運ばなければならない。
地域の廃棄規制	廃棄物処理法の許可を受けた業者に処理を委託する。本物質を下水 / 水道供給経路に流入させてはならない。薬剤または使用済容器で、池、水路、溝を汚染しないでください。内容物 / 容器を現地、地域、国、国際規則に従って廃棄すること。自社で排水処理装置を所有していない場合は、全量回収の上産業廃棄物処分業の許可を受けた業者に、産業廃棄物管理票(マニフェスト)を添えて、処理を委託する。

## 14. 輸送上の注意

IATA	危険物には該当しない。
IMDG	危険物には該当しない。
MARPOL73/78 附属書II 及びIBC コードによるばら積み輸送される 液体物質	該当しない。
一般情報	IMDGに定める海洋汚染物質。
国内規制	国内輸送については 15 章の規制に従うこと。

## 15. 適用法令

労働安全衛生法			
通知対象物			
E-カプロラクタム	別表第9 政令番号 55	1.0 - 5.0 %	
表示対象物			
E-カプロラクタム		1.0 - 5.0 %	
変異原性が認められた既存化学物質			
ビスフェノールA型エポキシ樹脂中間体			

## 毒物及び劇物取締法

### 特定毒物

該当せず。

### 毒物

該当せず。

### 劇物

該当せず。

## 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律

### 第一種特定化学物質

該当せず。

### 第二種特定化学物質

該当せず。

### 監視化学物質

該当せず。

### 優先評価化学物質

E - カプロラクタム

4, 4' - イソプロピリデンジフェノールと 1 - クロロ - 2, 3 - エポキシプロパンの重縮合物 ( 別名ビスフェノール A 型エポキシ樹脂 ) ( 液状のものに限る。 )

### 届出不要物質

該当せず。

## 化学物質排出把握管理促進法

### 特定第一種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)

該当せず。

### 第一種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)

E - カプロラクタム 政令番号 76 5.0 % (カプロラクタム)

### 第二種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)

該当せず。

船舶安全法・危規則 該当せず。

航空法・施行規則 該当せず。

## 火薬類取締法

該当せず。

## 海洋汚染防止法

ビスフェノールAエピクロロヒドリン樹脂 X類

カプロラクタム及びその溶液 Z類

## 16. その他の情報

### 引用文献

ACGIH Documentation of the Threshold Limit Values and Biological Exposure Indices

HSDB® - Hazardous Substances Data Bank

IARC発がん性評価モノグラフ

日本化学工業協会 GHS対応ガイドライン、2012年6月

日本産業衛生学会、許容濃度等の勧告

JIS Z 7252 : 2014 GHS に基づく化学品の分類方法

JIS Z 7253 : 2012 GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法 - ラベル、作業場内の表示及び安全データシート ( SDS )

National Toxicology Program (NTP) Report on Carcinogens

### 詳しい情報

Transportation Emergency

Call Chemtrec at:

US: 800.424.9300

International: 703.741.5970

Spain: 900.868.538

Switzerland: 0800.564.402

Chemtrec's toll free, mobile-enabled number in Germany – 0800 1817059

South Korea Toll-free Number – 080-880-0468

### 免責条項

本書は、技術的に信頼がおけるとみなされる情報源からのデータと、正しいと見なされる情報に基づいて作成されているが、Materionは本書に明示もしくは暗示されている情報の正確性について保証するものではない。Materionは、この情報およびその製品が使われるすべての状況を予測することはできず、また製品使用時の実際の条件は統制できない。従って、ユーザーはこの製品を特定目的のために使うにあたり、分かり得るすべての情報を評価し、国及び地方公共団体の法令に準拠する責任がある。